■調査票記入例

文部科学省ホームページ掲載の『質疑応答集』も御確認ください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
○学校基本調査＞Q＆A＞質疑応答集（初等中等教育機関，専修学校・各種学校編）

□家事手伝いをしている者，外国の学校に入学した者，左記A～E に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者の数を記入します。

□正規の手続を行った学校のみが記入します。
実態として小中一貫教育又は中高一貫教育を行っていても，正規の手続を経ていない学校は記入の必要はありません。
また，正規の手続を経ていても，本年４月１日以降に小中一貫教育又は中高一貫教育を行う事となった学校は記入の必要がありません。

□廃校となった場合でも，前年度に卒業者がいる場合，本調査票の作成が必要です。
廃校の場合であっても，本項目では「１ 本校」又は「２ 分校」を前年度の実態によって記入します。

□卒業者が各区分に重複して該当する場合は，便宜上，A→B→C→D→E の順に記入し，重複記入はしないでください。
・本年５月１日現在の状況を記入してください。したがって，進学，入学した者が５月１日までに退学した場合，就職した者が５月１日までに退職した場合は進学者，入学者，就職者として扱いません。
なお，卒業時から５月１日までの状況の変更について把握できない場合は，卒業時の状況を記入してください。

□「就職」とは，給料，賃金，報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。
自家・自営業に就いた者は含めますが，家事手伝いは就職者には含めません。（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います。）

□「８」に計上した卒業者のうち，高等学校及び中等教育学校後期課程の本科（通信制及び別科は除く。就職して願書を提出した者を含む。），高等専門学校又は特別支援学校高等部の本科（別科は除く。）へ願書を出した者の実数を記入します。
同一人が２校（又は２課程）以上に願書を提出した場合も，１名として記入します。
例えば，同一人が２校（又は２課程）に入学志願して，そのうち幾つかの学校（又は課程）に合格した場合は，実際に進学した方に記入し，いずれの学校（又は課程）にも不合格の場合は，第一志望の方に記入します。

□「６ 中高一貫教育の実施形態」欄に「１ 併設型」「２ 連携型」を記入した学校で，併設先又は連携先の高等学校へ入学志願した者を再掲として記入します。

□符号のある各欄の合計値と「計」の数値が一致しているか，必ずご確認ください。

□ オンライン調査システムで回答した調査票については，調査票右下に送信した日付が表示されます。空白になっていないか，表示されているのが本年度の日付かを必ず確認してください。

20XX/05/01

1 本校と分校（正規の手続を完了したもの）は，別々に調査票を作成する。分校の調査票は本校で取りまとめ，校長から提出す
2 数字は，[, ,] の中に一字ずつ，右側につめて記入
3 符号a～uは，調査票の各欄の同符号と必ず一致しな
4 「計」欄のあるところは，必ず検算をする。

文 部 科 学 省